

平成23年 年頭挨拶

飛翔 CONYX2011

～プラス発想 新たな創造

「価値」を生み出すコニックス～



代表取締役社長 吉田治伸

年頭に当たり、皆様方の益々のご健勝を心よりお慶び申し上げます。

当社は、創立56年目に突入致しました。本年度も、大健闘の成績が残せそうであり、そしてこうして新しい年を迎える事ができるのも現場の皆様を中心とした努力の結果と心よりお礼申し上げます。

さて、先細りが当たり前であり、新たな日本の成長戦略が描けない国内でサービス業を営んでいる当社にとって、業績が上がらない理由を言う事は、大変簡単な事であります。現実、同業の集まりなどでは、いまだに、「箱物が建たない」、「競争が激しい」なんてつまらない事を言い続けている経営者もいます。

私は、15年前、吉田興業からコニックスに変わる年に入社しました。今日に至る間、多くの同業者が売上を落としたり、成長できなかつたりするなか、当社は、33億円から51億円の売上の会社に成長しました。

この成長の原動力は、大雑把に言うと二つであると思っています。

一つは、現場の方々の変化です。15年前は、3K(きつい、きたない、きけん)の代名詞のような業界で「好きでこんな仕事やっているわけでない」という社員の方が実に多かったのであります。

今は、「笑顔、挨拶、身だしなみに報連相」が身につく、「やりがい」を感じて働いて頂ける社員の方が増えました。その結果、お客様からお褒め頂いたり、「尊敬」「感動」されたりする事が多くなってきました。これは、社内報におけるコニーちゃんポケットやQC活動を通じて実感します。15年前を知っているだけに、泣けるほどうれしいのであります。

二つ目は、本当の「総合ビルメンテナンス業」になりつつあることであります。ビルにまつわる仕事は、100もあるのに、実際、主力は、清掃でありました。現在では、省エネ提案や各種工事、また、病院を中心とした補助業務や指定管理業務が増え、提案能力や教育能力が必要な付加価値が高い仕事も獲得できるようになりました。

今年のスローガンにある「価値」というものは、実はものすごく簡単なことから始まるのであります。「笑顔」であり、「挨拶」であり、「姿勢」であり、そんなまわりの方に「元気」を差し上げられる行動に始まり、最終的には、ビルにまつわる話は、ゼネコンでなくて、「コニックス」となるほど提案能力が上がった時、我々は、真に社会に必要とされる会社になるのではないのでしょうか？

2000名を越える当グループの社員のそれぞれが、「仕事」を通じて、「出会い」を喜び、「友情」を感じる。そして、「感動」や「ありがとう」を頂戴し、「成長」や「やりがい」を感じる。そんな気持ちの良い会社にしていきたくと切に思います。

また新たな第一歩を進む今日、お客様、社員、会社が飛躍し、共に幸福になる事を祈願し、またそうなるために最大限の努力を行う事をお誓いして年頭の挨拶といたします。